

企画政策部長の仕事宣言！

企画政策部長 石丸 健一

①リープロの名称	九州の拠点、鳥栖の顔づくりプロジェクト
②目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖駅利用者数 14,500 人/日（乗降客数） ・新鳥栖駅利用者数 6,180 人/日（乗降客数） ・情報化推進計画の進捗率 85% ・広域連携事業数 12 事業
③今年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ①関係機関との協議・調整を図りながら「鳥栖駅周辺まちづくり基本設計」の推進及びイメージの公表 ②九州国際重粒子線がん治療センターの支援、PR ③第2次鳥栖市情報化推進計画の推進及び市公式ホームページの充実に向けた検討 ④筑後川流域クロスロード協議会等における連携事業の実施及び新たな事業の検討
④今年度の取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ①鳥栖駅周辺まちづくり基本設計のイメージ公表後に、財政的な理由により自由通路・橋上駅を核とした基本設計に基づく事業は断念に至りました。 ②九州国際重粒子線がん治療センターの定期的な会議に出席し、情報共有を図りました。 ③第2次鳥栖市情報化推進計画個別施策の検証・見直しを行い計画の推進を図ることとしました。また、次期公式ホームページ更新の検討を行うための委員会を設置しました。 ④筑後川流域クロスロード協議会の会長職及び事務局を鳥栖市が担い、今後の協議会の在り方を検討する中で、これまでの取組総括を行うことにしました。
⑤数値目標の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖駅乗客数 7,145 人/日（平成 29 年度分より降客数は非公表） ・新鳥栖駅乗客数 1,577 人/日（平成 29 年度分より降客数は非公表） ・情報化推進計画の進捗率 66% ・広域連携事業数 11 事業
⑥成果と課題（次年度に向けて）	事業推進を図るため、議会及び市民の皆様へ説明・情報提供を行いながら関係機関と連携し、取組を進めます。また、鳥栖駅周辺のまちづくりについては、実現可能な方策を模索します。

◇副市長の指示

- ・財政的な理由により自由通路・橋上駅を核とした鳥栖駅周辺整備事業は断念となったが、鳥栖駅周辺のまちづくりについては、実現可能な方策を模索すること。
- ・筑後川流域クロスロード協議会については、各種事業の効果・検証を踏まえながら総括を行い、今後の在り方について検討していくこと。

企画政策部長の仕事宣言！

企画政策部長 石丸 健一

①リープロの名称	「これからも、選ばれつづける鳥栖シティ！」プロジェクト
②目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・企業進出協定件数 200 社以上 ・25～39 歳転入者数 8,400 人 ・出生数 3,760 人 ・市民満足度調査満足派の割合 85%
③今年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ①ふるさと・しごと促進事業の実施、土地利用構想策定、都市計画マスタープラン策定に向けた取組 ②空き家対策事業の推進、50戸連たん制度の運用 ③保育所整備、教科「日本語」の取組、アウトリーチ事業の実施 ④鳥栖駅周辺まちづくり事業（基本設計）、サガン鳥栖支援、小学校周辺交通安全対策事業の推進
④今年度の取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ①ワークショップを開催し、都市計画マスタープランの地区別構想に取り組みました。また、土地利用構想を策定し、総合計画の土地利用計画に反映させました。 ②江島地区の50戸連たん制度の区域指定を受け、運用を始めました。 ③教科「日本語」及びアウトリーチ事業に取り組み、実施しました。 ④鳥栖駅周辺まちづくり基本設計のイメージ公表後に、財政的な理由により自由通路・橋上駅を核とした基本設計に基づく事業は断念に至りました。
⑤数値目標の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・企業進出協定件数 201 社 ・25～39 歳転入者数 4,450 人 ・出生数 2,109 人
⑥成果と課題（次年度に向けて）	<p>“鳥栖発”創生総合戦略については、引き続き施策の効果的な実施を推進すると共に、第2期の策定に向け検討を行います。</p>

◇副市長の指示

- ・“鳥栖発”創生総合戦略に位置付ける各種施策については、その進捗状況等を把握し、効果・検証しながら取り組んでいくこと。また、第2期総合戦略の策定については、国・県の動向に注視し、取り組んでいくこと。